

平成 26 年度第 7 回（通算第 69 回）

## 山口国際文化化学研究会へのおさそい

教員世話人 稲田秀雄

院生世話人 王 星慧 小野飛鳥 岡村理恵 張超超

日時 平成 27 年 1 月 28 日（水曜日）16 時 10 分より  
場所 国際文化学部棟 C-12 教室  
主催 大学院国際文化学研究科  
発表者 水谷由美子 国際文化学研究科教授

タイトル 「祝・大学院創設 15 周年 国内外を舞台にゼミ生と歩んだ 15 年の研究創作 -産学官連携事業「やまぐち文化発信ショップ NaruNaxeva」からサービスデザイン研究まで-」

要旨 発表者の研究生生活は服飾美学と服飾デザインの 2 足のわらじを履くようなライフスタイルではじまった。服飾美学では西欧中世から近世にかけての絵画や文学、また祝祭に登場する道化師の服飾に関する意味や機能について、各部位の特性を同時代の社会や文化のコンテキストから読み解く研究である。宮廷道化師の系列にある人物と即興喜劇コンメディア・デッラルテに登場する人物の調査研究をしてきた。

他方で、服飾デザインあるいはアート・ディレクターとして、京都時代に舞台衣裳や歴史衣裳などの創作活動から地域の歴史や文化に着装を得た服飾デザインとプレゼンテーションを実施し、その後、山口に赴任以後、地域資源を活かした服飾デザインやファッションの商品開発などを手がける。大学院創設時には、西門前商店街に産学官連携事業「やまぐち文化発信ショップ NaruNaxeva」プロジェクトを開始し、4 年後にサテライト研究室が大殿大路に設置され、デザインの実践活動を大学院生とともに歩んできた。

2007 年にラップランド大学と出会い、2009 年から共同研究を開始し現在まで継続している。2013 年には新たなデザインの考え方であり方法であるサービスデザインに関する研究を開始し、新たな研究創作と地域貢献を模索しはじめている。

本研究会では 15 年間、大学院学生とともに歩んできた研究創作とその成果について検証する。

※終了後、第二部として自由なトークを展開できる場（山口国際文化学 SALON）を準備しております。こちら皆様積極的なご参加をお願いいたします。